

赤城水源の森(所要時間 2 時間)



【自然観察、沢遊び】

(内容)

- ・水辺の昆虫、水生昆虫を探す。自然観察指導者による植物、動物、昆虫水生生物の説明を受ける。
- ・サンショウウオをキャッチ&リリース、水源探査、沢遊び

(ねらい)

自然観察を通して、動植物と親しみ自然環境に関心をもつことができる

指導体制：指導者2名、指導助手7名 に対し **対象人数**：30~35人

準備：事前の下見、雨天のプログラム用意

留意点：捕獲した生物は生態系保護のため、必ず自然に帰すようにする。
指導者やスタッフの確保と入念な打ち合わせが必要。

プログラムの関連性：

小学校学習指導要領

理科 内容 B生命・地球

3年(2) 身近な自然の観察 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。

4年(2) 季節と生物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

5年(1) 動物の誕生 魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつことができるようにする。

ア 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。

イ 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。

ウ 人は、母体内で成長して生まれること。

6年(3) 生物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。